

市が実施する施策の取組状況（重点施策）

1 3Rの推進・適正処理に向けた意識向上

項番	施策名	実施状況 ・実施済み(継続中) ・一部実施済み ・未実施	評価(取組状況)
1	市報やホームページ、広報紙「ごみらいふ」を通じた積極的な啓発	実施済み(継続中)	<p>市報や市のホームページについては、より広く周知する必要がある場合や、タイムリーな情報提供を必要とする場合など、それぞれの役割を考慮し、積極的な啓発を図っています。広報紙「ごみらいふ」については、ごみ減量推進実行委員会による協力のもと、年2回発行しています。</p> <p>・平成26年度より、分別変更を実施したため、市報特集号の発行、市民説明会の開催のほか、パンフレット「私のまちのごみと資源の出し方」を全戸配布を実施しました。</p> <p>・平成29年度には、ごみ減量推進実行委員会発足25周年を記念して、「ごみらいふ」の1面、4面をカラー化し、より積極的な啓発を図ります。</p> <p>市報掲載 平成26年度:64回、平成27年度:58回、平成28年度:53回 市報特集号 平成26年度:2回発行 主な市報掲載内容 分別変更、年末年始の収集、カラスの被害を防ぐごみの出し方、収集車両の火災、スプレー缶の出し方、各種イベントの案内など ごみらいふの主な内容 平成26年9月号:ごだいら環境フェスティバル開催、小型家電回収ボックスを設置 平成27年3月号:集まれ!リサイクルきゃらばんへ、小型家電の宅配便による回収スタート 平成27年9月号:ごだいら環境フェスティバル開催、意外と知られていないキャップの分別 平成28年3月号:ごみ分別アプリを開設、食物資源(生ごみ)をエコ活用しませんか 平成28年9月号:ごだいら環境フェスティバルを開催、ごみゼロフリーマーケットを開催しました 平成29年3月号:「もったいない」が合言葉 食品ロスを削減しよう!</p>
2	説明会、施設見学会、イベントを通じた3Rに関する理解の促進	実施済み(継続中)	<p>自治会や地域団体等での市民説明会・出前講座での対話や、小平・村山・大和衛生組合や小平市リサイクルセンター等での施設見学会において、ごみと資源物の分別等に関する意識の向上を図っています。また、ごみ減量推進実行委員会や廃棄物減量等推進員と市の共催で実施している「ごみゼロフリーマーケット」「ごだいら環境フェスティバル」「マイバッグキャンペーン」において、様々な取組に関する啓発を積極的に行い、市が取り組んでいる活動のPRと市民の環境に関する意識の向上を図っています。</p> <p>市民説明会・出前講座 平成26年度:15回、平成27年度:6回、平成28年度:8回 施設見学:平成26年度:3回、平成27年度:2回、平成28年度:5回 ごみゼロフリーマーケット、ごだいら環境フェスティバル:各年度各2回 リサイクルきゃらばん(日時と場所を予め定めて実施する資源物の拠点回収):各年度4回 マイバッグキャンペーン:各年度各2回</p>
3	ごみ問題に対する市民の関心の度合いに応じた啓発	実施済み(継続中)	<p>分別・適正排出の徹底、食品ロスの削減等を目的に、ごみ分別アプリの運用、パンフレットの音声(デイジー)版・点字版を作成したほか、社会科副読本及びキッズページ※の内容の充実を図っています。</p> <p>・子ども向けに、平成28年4月には、社会科副読本「わたしたちの小平市」に食品ロスに関する内容を追加しました。平成28年12月には、キッズページ「ぶるべーのさんぼみち」内の「ごみ・リサイクル」のページを改訂し、配信しました。</p> <p>・主に若年層向けに、平成27年10月には、アプリ「小平トピックス」内で、ごみ分別アプリの運用を開始しました。</p> <p>・障がい者向けに、平成26年11月の分別変更に合わせて、パンフレット「私のまちのごみと資源の出し方」・「分別をよりわかりやすく」の音声(デイジー)版を作成しました。また、小平市社会福祉協議会の協力を得て、パンフレット「私のまちのごみと資源の出し方」の点字版も作成し、市内図書館、東部・西部出張所、小平市国際交流協会へ閲覧用として配布しました。</p> <p>※キッズページとは、主に小学校3~4年生を対象とした、平成22年11月に市のホームページ内に開設されたページです。</p> <p>アプリのダウンロード件数 (ごみ分別アプリの)運用前(平成27年10月):885、運用後(平成28年度末):8,301 ※市把握</p>
4	子ども向けの啓発の強化、環境学習・環境教育の支援	実施済み(継続中)	<p>小学校での出前説明会にて、機会を捉えて清掃車やマスコット・キャラクターを活用するほか、社会科副読本及びキッズページの内容を充実させることで、啓発の強化を図っています。</p> <p>・平成28年4月に、社会科副読本「わたしたちの小平市」に食品ロスに関する内容を追加しました。</p> <p>・平成28年12月に、キッズページ「ぶるべーのさんぼみち」※内の「ごみ・リサイクル」のページを改訂し、配信しました。改訂の具体的な内容は、ごみ・資源の量、ごみ組成分析結果、分別のルール、食品ロス削減、市のリサイクル施策に関するページの追加、及び、既存ページの変更を行い、内容を充実させました。また、小平・村山・大和衛生組合、収集業者、秘書広報課等による協力の下、燃えるごみの処理の流れに関する動画を撮影し、その動画に字幕を表示して掲載しました。</p>

5	ごみと資源の出し方パンフレットの見直し	実施済み (継続中)	平成26年11月の分別変更に伴い、パンフレット「私のまちのごみと資源の出し方」の内容を見直し、全戸配布しました。見直しに当たっては、ごみ減量推進実行委員会や、東多摩再資源化事業協同組合からの古布の現行品目以外の資源化可能品目などの意見を取り入れ、より分かりやすいものとなるよう検討しました。また、平成28年度にも、同パンフレットの見直しを行いました。
6	外国人向けのごみと資源の出し方パンフレットの作成	実施済み (継続中)	平成26年11月の分別変更に伴う、パンフレット「私のまちのごみと資源の出し方」の見直しに合わせて、小平市国際交流協会と協力し、外国人向けに、英語、ハングル語、中国語(繁体字・簡体字)の計4言語のパンフレットを作成しました。 作成部数 英語:800部、ハングル語:1,600部、中国語(繁体字・簡体字):各800部
7	「雑がみ」や「プラスチック容器」の正しい分別の啓発の強化	実施済み (継続中)	<u>市のパンフレットやホームページへの掲載、チラシの作成等を通じて、分別の啓発を図っています。</u> ・「雑がみ」については、分別方法や雑紙を排出する紙袋がない場合の問い合わせを受け、平成27年度に、雑紙袋の簡単な作り方を、市のホームページに掲載し、チラシを作成し、資源としての排出を呼びかけています。また、はがきの回収ボックスを市役所、東西出張所に常時設置し、市内郵便局には年2回、一定期間設置し、回収してリサイクルを実施しています。 ・「プラスチック容器」については、パンフレット「私のまちのごみと資源の出し方」に、プラスチック類の分け方・出し方として、プラスチック容器(資源物)、可燃ごみ、不燃ごみの分別をフローチャートで示すほか、資源化できる汚れの程度を写真付きで掲載することで、正しい分別の啓発を図りました。
8	資源循環の推進に向けたグリーン購入の呼びかけ	実施済み (継続中)	市役所内部では、エコダイラ・オフィス計画を推進する中で、新任研修や予算説明会等で呼びかけを行っています。また、市報における「ヘラスンジャー」の連載記事の中で、定期的に、グリーン購入の呼びかけを行っています。 ※「ヘラスンジャー」とは、分別収集などによるリサイクルをもっと身近に感じてもらおうと、誕生した「生きカエル」が、誕生当初の1つの「R(リサイクル)」から、時代の変遷に合わせて「3R」に衣替えし、「ヘラスンジャー」に変身しました。「ヘラスンジャー」は、「ほくらはごみを減らすんだ」から振ったものです。
9	スマートフォンなどの新たな媒体を活用した、啓発・情報提供の検討	実施済み (継続中)	<u>スマートフォン・タブレット端末向けに、平成27年10月に、「ごみ分別アプリ」の運用を開始しました。</u> それにより、自分の住む地区のごみと資源の収集日と出し方が容易に確認でき、必要に応じて品物の名称から分別区分を検索できるようにすることにより、分別と適正排出の徹底を図っています。 アプリの運用開始に当たっては、市のホームページやツイッターでの御案内、市報や「ごみらいふ」での記事掲載のほか、紙ベースの分別パンフレット「私のまちのごみと資源の出し方」にリーフレットを挟み込むこと、例年行っている自治会等に向けた年末年始のごみ・資源の収集日程に係る案内文書に本件を記載すること、市内の大学等にポスターの掲示を依頼すること等、機会を捉えて周知に努めました。
10	マス・コミュニケーションを通じたPRの実施	実施済み (継続中)	イベント開催や新しい取り組みを行う場合は、報道各社に積極的に情報提供(プレスリリース)を行っています。新聞やテレビ等に取り上げられることで、より効果的なPRにつながっています。 掲載内容 平成26年度:パソコンの宅配便による回収サービス開始(東京都で初めて提供事業者と協定締結)新聞掲載、月刊廃棄物「有料化・戸別収集導入に向けたごみ減量・資源化」掲載 平成27年度:月刊廃棄物「食物資源循環モデル事業」掲載 平成28年度:「食物資源循環モデル事業由来の堆肥を使用して栽培した野菜を使用したエコやきそば販売」(ごみゼロフリーマーケット)新聞掲載、「フードドライブの取り組み」(環境フェスティバル会場)テレビ放映 平成29年度:「食物資源循環事業由来の堆肥を使用して栽培した野菜の直売」(ごみゼロフリーマーケット)新聞掲載(2社)
11	親しみやすい啓発	実施済み (継続中)	イベントや小学校での出前説明会で、マスコット・キャラクター「ヘラスンジャー」を活用するほか、収集車両用マスク、啓発品(缶バッジ)、配布看板にマスコット・キャラクターを積極的に活用するなど、親しみやすさや分かりやすさを前面に啓発活動を行っています。

2 生ごみの減量(食物資源の資源化推進)

項番	施策名	実施状況 ・実施済み(継続中) ・一部実施済み ・未実施	評価(取組状況)
12	食物資源循環モデル事業の規模拡大・リサイクルの手法の検討	実施済み(継続中)	<p>ごみ減量の1つの方法として、生ごみを資源として位置づけ、資源化する食物資源化事業を市の重要な施策として取り組んでいます。</p> <p>・平成22年度にモデル地区を指定し一部地域で開始し、平成24年度に市内全域に拡大し、3世帯以上を参加条件として、平成28年度の目標参加世帯を1,000世帯として取り組んできました。</p> <p>・平成28年度に事業内容の検証を行い、他市や他の資源物とのコスト比較、資源循環の仕組みづくり、今後の取組を実施報告書として取りまとめました。参加世帯の満足度も高く、参加世帯数や回収量についても増加傾向であることから、平成29年度から本格実施事業として取り組むこととしました。</p> <p>・家庭ごみ有料化・戸別収集移行まで、当面、1,000世帯の事業規模を継続し、コスト削減や参加世帯の拡大について検討を行っていきます。</p> <p>参加世帯数(資源化量) 平成26年度:761世帯(47t)、平成27年度:936世帯(59t)、平成28年度:989世帯(60t)</p>
13	食物資源リサイクルの充実と定着	実施済み(継続中)	<p><u>生ごみの資源化に関する事業である、食物資源循環事業、食物資源処理機器購入費補助事業、学校給食等の一次処理物再資源化事業を平成29年度に統合して食物資源資源化事業として取り組んでいます。</u></p> <p>・食物資源循環事業の参加世帯を募り、市内の環境イベントで食物資源由来の堆肥を無料配布し、食物資源リサイクルの啓発とPRを行っています。</p> <p>・ごみ減量推進実行委員会との協働で、ダンボールコンポスト講習会やEM菌バケツを使った堆肥化講習会を開催し、食物資源(生ごみ)の自家処理の支援を行っています。</p> <p>・ごみ・リサイクル情報誌「ごみらいふ」では、平成28年3月号で、「食物資源(生ごみ)をエコ活用しませんか」と題して、住宅環境や生活環境から、どの資源化方法がその人に合っているかを紹介しました。</p>
14	食物資源リサイクルの手法の研究(現在の民間施設での堆肥化以外)	未実施	堆肥化以外の食物資源リサイクルの手法については引き続き情報収集に努め、研究していきます。
15	食物資源由来の堆肥の農地利用の検討	実施済み(継続中)	<p><u>平成16年度より市の試験圃場において、市内農家の協力で食物資源由来の堆肥を利用して作物を栽培し、育成状況や土壌の検査を行い、堆肥の安全性や有効性、問題点等の検証を行ってきました。これまでの作物の生育状況は良好で、土壌分析でも問題がないとの結果が出ています。今後も市内農地での利用を進めていきます。</u></p> <p>・平成28年度のごみゼロフリーマーケットでは、食物資源由来の堆肥を使った野菜をPRするため、市内農家1軒の協力により、キャベツを栽培し、「小平やきそば」の具材として販売しました(新聞掲載)。</p> <p>・平成29年度のごみゼロフリーマーケットでは、市内農家2軒の協力により「小平やきそば」の他、キャベツと小松菜を「資源循環野菜」として販売しました。(新聞掲載)</p> <p>・果樹園農家1軒において、果樹栽培に活用されています。その他市内の園芸農家でも利用されています。</p>
16	水切りの徹底の啓発	実施済み(継続中)	市のパンフレットやホームページなどでの啓発のほか、水切りネット等の啓発品をイベント等で配布しています。
17	「もったいない」を強くアピールした、広報やイベントなどを通じた啓発	実施済み(継続中)	<p><u>ごみの組成分析の結果から多くの未利用食品がごみとして出されている実態を踏まえて、「もったいない」の意識啓発の一環として、未利用食品の回収を開始しました。</u></p> <p>・平成27年3月からリサイクルきらばんの回収品目に未利用食品を追加して、フードドライブ活動を開始しました。</p> <p>・平成28年度ごだいら環境フェスティバルでは、フードドライブの取材を受け、テレビ放映されました。</p> <p>・食品ロスの削減をテーマに啓発看板や収集車両用マスクを作成し、市民への啓発を実施しました。</p> <p>・ごみ減量推進実行委員会と協働で発行している、ごみ・リサイクル情報誌「ごみらいふ」平成29年3月号では、1面にて、「もったいない」が合言葉 食品ロスを削減しよう!と題して啓発を行いました。</p>
18	自家処理の促進のための支援	実施済み(継続中)	<p><u>家庭や事業所を対象に食物資源(生ごみ)処理機器購入費補助金制度を継続しています。</u></p> <p>・平成28年3月発行の「ごみらいふ」にて、住環境や生活状況にあった自家処理方法を提案しました。</p> <p>・毎年、ごみ減量推進実行委員会とともに、ダンボールコンポストやEM菌バケツを使用した自家処理のための講習会を開催しています。</p> <p>食物資源処理機器購入補助金交付実績 平成26年度:40基、平成27年度:47基、平成28年度:40基 ダンボールコンポスト講習会参加実績 平成26年度:19名、平成27年度:17名、平成28年度:17名 EM菌バケツを使用した堆肥化講習会参加実績 平成26年度:47名、平成27年度:15名、平成28年度:9名</p>

3 容器包装プラスチックの資源化推進

項番	施策名	実施状況 ・実施済み(継続中) ・一部実施済み ・未実施	評価(取組状況)
19	全量容器包装プラスチックの資源化の実現	未実施	全量容器包装プラスチックの資源化の実現に向けて、小平・村山・大和衛生組合及び構成3市共同で、3市共同資源化事業の実現に向けて、資源化の推進や施設整備に向けた準備を進めています。 ・平成29年3月までに、3市共同資源物処理施設整備地域連絡協議会を39回開催 ・平成28年12月に工事請負業者と仮契約締結 ・平成29年1月23日に本契約締結
20	消費段階からの減量の取組み	実施済み(継続中)	市報や市のホームページ等による啓発や、マイバッグキャンペーンの実施により、環境に配慮した買い物を促しています。 ・市報等を活用し、容器包装の少ない商品を選択する等の呼びかけを行いました。 ・廃棄物減量等推進員との協働により、年に2回マイバッグキャンペーンを実施し、市内スーパーのご協力をいただき、店頭にて、マイバッグ使用によるレジ袋削減を呼びかけています。 ・平成27年度には、廃棄物減量等推進員との協働により、市内で量り売り、はだか売り等を実施し、環境に配慮した取組を行っている小売店を調査するため、市内のスーパー等小売店にアンケート調査を行い、結果を市のホームページで広報することにより、市民に対し環境に配慮した買い物を促しました。

4 適正な処理の維持・向上に向けた処理体制の構築

項番	施策名	実施状況 ・実施済み(継続中) ・一部実施済み ・未実施	評価(取組状況)
21	3市共同資源物処理施設(ペットボトル・容器包装プラスチック)の整備	未実施	平成26年2月に3市共同資源物処理施設の建設予定地周辺の自治会やマンション管理組合を対象に「3市共同資源物処理施設整備地域連絡協議会」を発足し、建設に向けた連絡協議会を平成29年3月までに39回開催してきました。 平成27年から平成28年度には、建設に向けた準備として、生活環境影響調査、地歴調査、土壌調査等の各種調査を実施し、発注仕様書を作成しました。 平成28年12月に工事請負契約を締結し、平成31年度に新施設稼働予定を目指して準備をすすめています。 ・平成26年9月に、「3市共同資源化事業基本構想」を、小平・村山・大和衛生組合及び構成3市で作成 ・平成28年2月に「(仮称)3市共同資源物処理施設整備実施計画」を作成
22	ペットボトル・容器包装プラスチック以外の資源化品目の処理施設の整備(更新)	未実施	平成27年度に作成した「(仮称)不燃・粗大ごみ処理施設整備基本計画」に基づき、平成28年度は、手選別ラインに係る検討や、ごみの組成分析調査結果により処理能力等について検討し、(仮称)不燃・粗大ごみ処理施設整備基本計画(改訂版)を作成しました。 ・平成26年9月に、「3市共同資源化事業基本構想」を、小平・村山・大和衛生組合及び構成3市で作成 ・平成28年2月に「(仮称)不燃・粗大ごみ処理施設整備実施計画」を作成 ・現在の小平市清掃事務所を、新不燃・粗大ごみ処理施設の建設用地として平成30年度に、小平・村山・大和衛生組合に提供予定
23	焼却施設等の更新	未実施	平成28年度に、小平・村山・大和衛生組合及び構成3市でごみ処理施設検討部会を立ち上げ、定期的な検討会議を開催しごみ焼却施設整備基本計画について検討しています。 ・平成29年1月に懇談会を設置し3月までに2回開催

5 家庭ごみ有料化・戸別収集への移行

項番	施策名	実施状況 ・実施済み(継続中) ・一部実施済み ・未実施	評価(取組状況)
24	家庭ごみ有料化	一部実施	<p>家庭ごみ有料化・戸別収集への移行については、平成31年度中の実施に向けて取組を進めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年7月に小平市廃棄物減量等推進審議会に「家庭ごみ有料化・戸別収集への移行の実施内容について」市長が諮問し、平成30年3月に答申をいただく予定です。 ・平成29年4月に移行に向けた基本方針を策定しました。 ・家庭ごみ有料化・戸別収集への移行についての基本計画素案を策定し、市報の全戸配布を行うとともに市民説明会、パブリックコメントを実施する予定です。 ・平成30年3月には、審議会の答申、市民説明会、パブリックコメントの内容を踏まえ実施計画を策定します。
25	戸別収集への移行		